

# 荷電粒子管理運営委員会

## 1999年度 第1回議事録

日時: 1999年6月4日(金) 19:00—20:30

出席者: 大西、加藤、千葉、平林、能登、升井\*1、吉田\*2

欠席者: 岡部、片山

議長: 大西, 書記: 大林 \*1:オブザーバ, \*2 アシスタント

No#A-#B-#C

#A: 第A回委員会, #B: 議案番号,

#C: R/報告, P/提案, D/議論, A/活動分担, C/決議事項

- 
- No1-1-R 加藤 開発申請  
北大大型計算機センターのデータベース委員会にて、今年度のNRDFデータベース開発申請を行った。
- No1-2-R 平林、能登 98年度年次報告書の概要  
内容は、テクニカルレポートが多く占められ充実したものができた。次回報告書から英語で書くことを考えてはどうか。
- No1-4-R 吉田 報告書の発送作業  
報告書の発送作業を行っている。送付総数は497冊
- No1-5-R 升井 学会発表  
3月に行われた原子力学会年会にて以下の発表を行った。  
[WWW上での核反応データベース利用システムの開発]  
升井洋志、大林由英、青山茂義、加藤幾芳、大西 明、千葉正喜  
[知識メディアを基盤とした核反応データベース利用環境の開発]  
大林由英、升井洋志、青山茂義、加藤幾芳、千葉正喜
- No1-6-R 升井 NRDFエラーチェック  
NRDFデータのエラーの状況を調べた。結果を別紙の資料に添付する。
- No1-7-R 升井 NRDF辞書について  
NRDF辞書の中にもエラーが存在する。これの検討も今後の課題である。
- No1-8-R 千葉 IAEA NRDC technical meeting  
IAEA NRDC technical meeting が5/18-20 の3日間、ウィーンのIAEA本部にて開催。参加者は日本から千葉、大林の2名、ロシアから3名、アメリカ、OECD/NEA、中国、韓国、ハンガリーからそれぞれ1名であった。JCPRGからは、以下のタイトルで大林氏が発表をした。“Development of charged particle nuclear reaction data retrieval system on recent computational architectures.”  
次回は、2000年5月第2週にNRDC center head meeting としてオブニンスクにて開催される。
- No1-9-P 加藤 天体核反応データ収集  
天体核反応データの収集を今年度以降検討していきたい。
- No1-9-C 全体 天体核反応データについて  
今後、天体核反応データの収集を検討してゆくこととする。
- No1-10-P 加藤 今年度の活動重点項目  
今年度の活動重点項目を議論する。
- No1-10-C 今年度の活動の重点項目について。  
基本的な活動内容として、1. データ収集、2. システム構築、3. 報告書作成、があげられる。具体的にはNRDFの、1. 文法書の作成、2. 辞書の整備、3 マニュアルの作成、を活動の重点項目とする。この重点項目を遂行する上で必要となる、NRDFデータのBIB, EXP, DATAそれぞれのセクションでの問題点の議論をしてゆくこととする。
- No1-11-C 今年度の運営委員会日程  
1999年度の運営委員会の日程は、金曜の18:30よりとする。
- No1-12-C 全体 次回運営委員会日程  
1999年7月2日(金) 午後18:30より開催予定。

# 荷電粒子管理運営委員会

## 1999年度 第2回議事録

日時: 1999年7月16日(金) 18:30— 21:00

出席者: 岡部、加藤、片山、千葉、平林、大林\*1、吉田\*2

欠席者: 大西、能登

議長: 大西、書記: 大林 \*1:オブザーバ、\*2 アシスタント

No#A-#B-#C

#A: 第A回委員会, #B: 議案番号,

#C: R/報告、P/提案、D/議論、A/活動分担、C/決議事項

- 
- No2-1-R 加藤 文部省への報告  
NRDF検索システムお試し版CD-ROMと、年次報告書を文部省へ持参。来年度の出版刊行への申請を検討している。
- No2-2-R 加藤 シグマ委員会の報告  
シグマ委員会に参加。JCPRGからの報告として、お試し版CD-ROMやスキャナを使ったグラフ読み取りシステムなど活動報告を行った。
- No2-3-R 千葉 EXFORへの変換作業  
IAEAへ送付したEXFOR形式に変換した8件のNRDFデータに対しIAEAからのチェック結果が送付されてきた。それに対応して修正をおこなってゆく。
- No2-4-P 大林 ワーキンググループ制導入について  
半年から一年の短期に集中的に議論すべきことについて、WGを導入し運営委員会外の小グループにて議論を行い、方針づけ、実際の作業実行方法など具体的な活動に結びつけることを目標とする。
- No2-4-A 平林  
千葉を「対EXFORデータ変換WG(仮)」、平林をもうひとつのワーキンググループの暫定責任者とし、次回の管理運営委員会までに、一度各ワーキンググループのあり方について議論し、報告する。
- No2-5-P 大林 議事録の書式の提案  
議事録の書式を別紙のように提案する。
- No2-5-A 全員  
試験的に次回以降の議事録を新書式で実行し試行することとする。
- No2-6-P 大林 文書の電子化と集積化についての提案  
文書の電子化と集積化について。
- No2-6-A 全員  
電子化について更に内容を吟味する。
- No2-7-A 加藤  
次回以降の運営委員会の議題として議論する。
- No2-8-C 全体 次回運営委員会日程  
次回運営委員会は、1999年9月17日(金) 午後18:30より開催。

# 荷電粒子管理運営委員会

## 1999年度 第3回議事録

日時: 1999年9月17日(金) 18:30— 21:00

出席者: 大西、岡部、加藤、片山、能登、大林\*1、吉田\*2

欠席者: 千葉、平林

議長: 大西, 書記: 大林 \*1:オブザーバ, \*2 アシスタント

No#A-#B-#C

#A: 第A回委員会, #B: 議案番号,

#C: R/報告、P/提案、D/議論、A/活動分担、C/決議事項

- 
- No3-1-R 升井 原子力学会発表  
9/10-9/12 新潟工科大学にて開催された原子力学会、核データセッションにて「荷電粒子核反応データの利用および収集システムの研究・開発」の発表を行った。また、9/28-9/30の情報処理学会ではデモセッションに参加予定(他参加者、大林、青山)。
- No3-2-R 千葉 EXFOR変換プログラム  
2000年問題対応など、IAEAからのNRDFデータのEXFORフォーマットへの修正要求に対応する為、変換プログラム修正を開始した。大計センターのプログラムをWS上に移植。NRDF、EXFORの最新の辞書に対応させる予定。
- No3-3-A 〃  
両WG暫定責任者不在のため、次回の運営委員会までに各WGのあり方について議論を行い報告することとする。
- No3-5-R 加藤 IAEA NRDC meeting  
IAEA NRDCコンサルタントミーティングの年次報告書が送付された。
- No3-7-R 大林 CONTIP論文  
IntelligentPad上でのNRDF検索システム(CONTIP)に関する論文がJournal of Information Science誌に受理された。
- No3-8-R 大林 CONTIPお試し版CD-ROM  
CONTIPお試し版CD-ROMを運営委員に配布する。
- No3-9-P 加藤 NRDFサーバのミラー化  
NRDFのデータベースサーバのミラー化を提案
- No3-9-A 加藤 NRDFサーバのミラー化  
NRDFデータ公開用のサーバを一台、理学部に設置する。詳細の検討はPostDocの大林、升井に一任する。
- No3-9-C NRDFサーバのミラー化  
NRDFデータ公開用のサーバの将来的な負荷分散などを考慮しミラー化を行ってゆく。
- No3-10-P 升井 Web上の核反応データ収集システムの提案  
Webブラウザ上で反応の数値データや反応式等の基本的な情報を入力することにより、NRDFのコード形式で保存できるページを作った。  
デモンストレーションを行って議論したい。
- No3-10-A 全員 Web上の核反応データ収集システム  
Web版データ収集システムのURLを運営委員、および学外を含むコーディング作業者に公開し試用してもらう。
- No3-10-C 全員 Web上の核反応データ収集システム  
いくつかのテストを行った後これを公開することを管理運営委員会として認める。
- No3-11-C 全員 次回運営委員会日程  
次回は 10/22金曜 18:30から開催。

# 荷電粒子管理運営委員会 1999年度 第4回議事録

日時: 1999年10月29日(金) 18:30— 21:00

出席者: 大西、岡部、加藤、片山、能登、大林\*1、升井\*1、吉田\*2

欠席者: 千葉

議長: 大西, 書記: 大林 \*1:オブザーバ, \*2 アシスタント

No#A-#B-#C

#A: 第A回委員会, #B: 議案番号,

#C: R/報告、P/提案、D/議論、A/活動分担、C/決議事項

---

## No4-1-R 青山、大林、升井 学会発表等報告

9/28-9/30 岩手県立大学にて行われた情報処理学会全国大会にて、CONTIPのデモンストレーションを行った。10/17-10/22 つくば国際会議場にて行われた第九回放射線遮蔽国際会議(ICRS9)に大林が出席、visualization and interfaceのセッションにて口頭発表を行った。11/18-11/19 日本原子力研究所東海研究所にて行われる、核データ研究会に、PD2名と青山の三名がposterセッションに参加予定。

## No4-2-R WG working groupの検討

運営委員会を前に、二つのWGで話し合いを持ち、活動内容についての検討を行った。1. 対EXFOR変換WG (NTX-WG) 別紙報告書を参照のこと。2. 天体核反応、重イオン核反応評価WG. (Evaluation-WG) は今後、AMD, カスケード、DWBA, DWIA等、原子核反応にかかわる計算コードの整備などに着手していく予定。実装やインタフェースの提供についてはVBL等との連携を今後検討する。

## No4-2-P 片山 業績リスト整備

NRDFにかかわる、講演、論文等の業績一覧の整備を提案する。

## No4-2-A 全員 業績リスト整備

提案に基づき、講演論文等の業績一覧および、科研費取得状況のリストを整備してゆくこととする。作業の詳細は今後議論する。

## No4-3-C 書記 議事録管理

運営委員会の議事録(案)は、次回の運営委員会の開催前に、各委員にEmailにて送付するものとする。

## No4-6-R 升井 Web上の核データ収集システム

学外のコーディング者にも試用してもらう。引き続き継続中

## No4-7-R 大西 科研費申請

科研費 基盤B 「自己発展する原子核反応データベース」 を申請した。

## No4-8-R 加藤 科研費申請

研究成果刊行費を申請予定。目的は現在開発中の検索システムの完成である。

## No4-9-R 加藤 IntelligentPadの啓蒙書

IntelligentPadの啓蒙書が出版された。高橋慈子著 「インテリジェントパッドの挑戦」 日本経済新聞社 ¥1,500 ISBN 4-532-40164-X

## No4-10-C 次回運営委員会日程

次回の運営委員会は11/26(金) 18:30より開催。

# 荷電粒子管理運営委員会

## 1999年度 第5回議事録

日時: 1999年11月26日(金) 18:30— 21:00

出席者: 大西、岡部、加藤、片山、能登、大林\*1、升井\*1、吉田\*2

欠席者: 千葉

議長: 大西, 書記: 大林 \*1:オブザーバ, \*2 アシスタント

No#A-#B-#C

#A: 第A回委員会, #B: 議案番号,

#C: R/報告, P/提案, D/議論, A/活動分担, C/決議事項

- 
- No5-1-A 大西, 大林 年次報告書の作成に向けて。  
過去の核データ関連の科研費取得状況、講演、論文のリストを大西が作成、最近2年間の講演、論文については大林が作成する。
- No5-2-C 年次報告書執筆ルール  
論文(paper)、報告(report)と区別し、両者とも英文の概要を添付することとする。論文については英語による本文記述を推奨する。
- No5-3-C 全員 年次報告書の内容  
本年度年次報告書より、JCPRGの核データに絡む業績等の掲載を行う。過去の核データ関連の科研費取得状況、講演、論文のリストを作成し掲載する。
- No5-4-C 年次報告書編集委員  
編集委員長 平林、編集委員 能登の二名で担当する。
- No5-5-R 大林, 升井 学会等発表の報告  
11/18-11/19の二日間、東海村にて開催された原研核データ研究会へ参加、ポスター発表を行った。
- No5-6-R 能登 NRDF辞書整備について  
文書「NRDF辞書の現状と問題点」を執筆。当文書の内容をNTX-WGにて議論、整理する。またその内容について今後報告する。
- No5-7-P 加藤 医療用核データ収集  
原子力学会誌11月号の記事「特集 国内の陽子・重イオン線治療施設の現状と展望」を参考にし、「医療用核データ」のNRDFでの収集の可能性の検討を行ってゆきたい。
- No5-7-A 加藤 医療用核データ収集  
理研の収集活動もJCPRGで引き継ぐこともあり得るとして、今後の検討を行う。
- No5-8-R NTX-WG NTX-WG活動報告  
辞書ファイルは複数存在しており、その整合性が問題である。現在辞書ファイル同士の整合性のチェックを進めておりどのような不整合があるかが明らかになりつつある。今後の活動方針を議論し、WGの結論として運営委員会に次回以降報告する。
- No5-9-C 加藤 IAEAからの情報  
IAEAからのEXFORの辞書の更新情報などが、加藤に送られてくる。必要な情報を取捨選択し、運営委員内に連絡することとする。
- No5-10-C 全体 青山氏の運営委員加入について。  
北見工業大学の青山茂義氏を運営委員として迎えることとする。青山氏は遠方の為、毎回の会議出席は不可能であるが、メーリングリスト上での議論参加や、可能な場合に出席する形で委員活動を行う。
- No5-11-C 全体 次回運営委員会日程  
1999年12月 27日 午前10:30分より開催。

# 荷電粒子管理運営委員会

## 1999年度 第6回議事録

日時: 1999年12月27日(月) 10:30— 00:00

出席者: 大西、岡部、加藤、大林\*1、布施\*1、升井\*1、吉田\*2

欠席者: 片山、千葉、能登、平林

議長: 大西, 書記: 大林 \*1:オブザーバ, \*2 アシスタント

No#A-#B-#C

#A: 第A回委員会, #B: 議案番号,

#C: R/報告, P/提案, D/議論, A/活動分担, C/決議事項

- 
- No6-1-R 加藤 EXFOR Systems Manualの最新版の送付  
NNDCのV. McLaneからEXFOR Systems Manual の最新版が送付されてきた。委員会内でも閲覧可能なように配布する。
- No6-2-P 加藤 VBL外部評価  
北大VBLは、今年度末に外部評価をうける。核データに関わる人物が評価メンバーに入ることも考えられる。
- No6-3-P 加藤 VBL関連プロジェクトの将来計画  
VBLのPD(大林、升井、近江)の任期は原則として今年度で終わるため来年度の体制作りも近々の検討課題である。新しいプロジェクト、たとえば、VBLで導入された演算サーバを用いる観点から我々の活動テーマを開拓してゆくことも視野にいれてVBL側と来年度の体制について相談してゆく。
- No6-4-P 加藤 外国人招聘の検討  
VBLの予算でIAEAの核データセクションのメンバーの招聘を検討している。
- No6-5-C 運営委員会日程  
次回運営委員会は1/28日(金) 18:30より開催。

# 荷電粒子管理運営委員会

## 1999年度 第7回議事録

日時：2000年1月28日(金) 18:30— 21:00

出席者：大西、岡部、加藤、千葉、能登、平林、大林\*1、升井\*1、吉田\*2

欠席者：片山

議長：大西、書記：大林 \*1:オブザーバ、\*2 アシスタント

No#A-#B-#C

#A: 第A回委員会、#B: 議案番号、

#C: R/報告、P/提案、D/議論、A/活動分担、C/決議事項

- 
- No7-1-P 岡部 テレビ会議の導入  
テレビ会議を早期に可能にするため青山氏に必要設備の有無を問い合わせる。
- No7-2-R 加藤 来年度 VBL PostDoc  
現在のVBLPostDoc(大林、升井、近江)については、大林は来年度一年間、升井は9月末までの任期延長を行う予定。近江はPostDocを今年度で終了し、来年度以降はアルバイトとして核データ関連の活動をサポートする予定である。
- No7-3-R 加藤 外国人招聘  
VBL外国人招聘枠への申請に際し、IAEA-NDSのOtto Schwerer氏から招聘依頼の承諾を受けた。申請が受理されれば、来年度一ヶ月間程度来日できることとなる。
- No7-5-R 加藤 2000年核データセンター長会議  
5/15-5/19、ロシアのオブニンスクにて核データセンター長会議が開催される。加藤、千葉の両名が参加予定。
- No7-6-R 加藤 CONTIP用パッドのバージョンアップ  
昨年末にIntelligentPad コンソーシアム(IPC)のWebサイト上で公開されたWindows版IntelligentPad(富士通版がベース)の新しいバージョンに対応したCONTIP用パッドの作成を、作成元であるシーズラボ社に発注した。
- No7-7-R 加藤 NRDFのマスター辞書の確認  
NRDF辞書の最新版を確認し、マスター辞書とした。吉田がマスター辞書を管理する。利用はマスターからコピーして行うこととする。今後NTX-WGは辞書のエラー訂正や新辞書の更新を行う体制を作り、辞書の改良や管理に着手してゆくことが必要である。
- No7-8-R 能登 NTX-WG活動状況  
NTX-WGでは、今後辞書の形式のバージョンアップ、コーディングシートの仕様変更の検討を行っていく。
- No7-9-R 升井 学会発表予定  
三月の物理学会でWWW上でのNRDF核データ検索、登録システムについて報告を行う。
- No7-12-P 加藤 Evaluation-WGの活動方針の議論  
旧核研の原子核理論計算コードライブラリーの管理の引継ぎを、Evaluation-WGの具体的な活動内容とすることを検討したい。
- No7-12-A 全体 核研コードライブラリに関する議論  
引き続き、検討、議論を行う。加藤は、核研のコードライブラリ管理の状況を赤石氏に問い合わせる。
- No7-13-P 編集委員 年次報告書の内容の議論  
今年度の年次報告書の内容を議論する。
- No7-13-A 全員 報告書等について。  
年次報告書各項目の担当者は執筆を行う。報告書の原稿の締め切りを2月末とする。

No7-13-C 全員

年次報告書内容原案

「荷電粒子核反応データファイル年次報告99」内容原案

1. 巻頭言-----岡部
2. 作業報告-----吉田
3. IAEA会議報告 -----千葉、大林
4. CONTIPpreprint-----大林
5. CONTIPの今後の発展-----大林
6. NRDF検索システム-----升井
7. 辞書の改訂と辞書の管理・保守----- NTX-WG(加藤、能登)
8. 辞書の形式及びコーディングシートの書式の再検討  
----NTX-WG(近江、能登)
9. 過去五年間の日本荷電粒子核反応データグループ(JCPRG)業績一覧  
----大西、大林
10. 日本荷電粒子核反応データグループ(JCPRG)科学研究費の採択状況  
----大西
11. 日本荷電粒子核反応データグループ(JCPRG)管理運営委員会議事録  
---- 加藤、大西、編集委員

の内容とする。

No7-14-C

第8回運営委員会日程

次回は2/25(金) 18:30より開催。

# 荷電粒子管理運営委員会

## 1999年度 第8回議事録

日時：2000年2月25日(金) 13:30— 16:00

出席者： 大西、岡部、加藤、千葉、能登、平林、大林\*1、布施\*1、升井\*1

欠席者： 片山

議長：大西、書記：大林 \*1:オブザーバ、\*2 アシスタント

No#A-#B-#C

#A: 第A回委員会, #B: 議案番号,

#C: R/報告、P/提案、D/議論、A/活動分担、C/決議事項

- 
- No8-3-R 加藤 VBL外部評価  
VBL外部評価に伴い、NRDFに関わる活動プロジェクトである「数理情報メディア・プロジェクト」の報告書原稿をVBLに提出した。
- No8-3-R 加藤 開発申請  
大型計算機センターにデータベース作成経費を申請した
- No8-4-R NTX-WG(能登) NTX-WG活動報告  
NRDF辞書の保守管理体制をWG内で議論した。「NRDF辞書の形式と管理の取り決めについて」文書を添付する。
- No8-5-P NTX-WG(能登) NRDF辞書の保守体制  
マスター辞書はサーバnucl.sci.hokudai.ac.jpに保管。辞書の更新については、提案内容を吉田がまとめ運営委員会の議案として提出、議論の後、委員会です承されたものを更新することとする。
- No8-5-C NRDF辞書の保守体制  
文書「NRDF辞書の形式と管理の取り決めについて」における「辞書の保守管理体制」について提案を承認する。
- No8-6-P NTX-WG 辞書のフォーマットについて  
文書「NRDF辞書の形式と管理の取り決めについて」に基づく辞書のフォーマットの改善案を提案する。
- No8-6-A NTX-WG 辞書のフォーマットについて  
辞書のフォーマットの提案については、具体的な辞書管理作業内容などの議論等を含め、詳細をNTX-WGでさらに議論する事とする。
- No8-7-P 加藤 マニュアル作成  
システムマニュアル、ユーザーズマニュアル等、NRDFのマニュアルを共通文書として保管したい。
- No8-7-A 全員 マニュアル作成  
引き続き議論することとする。
- No8-8-P 加藤 核データセンター長会議に向けた準備  
前回の会議までに提示されている課題の解決や、本会議におけるデモンストレーション内容等を議論したい。
- No8-8-A 全員  
次回運営委員会以降に議論することとする。
- No8-11-C 第9回運営委員会日程  
次回は3/22(水) 13:30より開催。